



(深澤常任理事)

4月21日(土)午後4時から道医師会館9階理事室において、開催予定の提出議題を決定。

第8号 北海道医師会・医師国保組合事務連絡協議会の開催に関する件(深澤常任理事)

5月11日(金)午後1時30分から道医師会館8階会議室で開催することと決定。

第9号 その他

(1) 4月行事予定表に関する件(事務局)

(2) 平成24年度主行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 診療報酬改定説明会[3月22日(木)~28日(水)]について(橋本常任理事)

本年4月からの診療報酬改定に伴い、全道11地区において、医師および医療機関事務職員等を対象とした診療報酬改定説明会が開催された(北海道厚生局が主催、北海道医師会、各郡市・医育機関医師会が協力団体)。北海道厚生局の指導医療官、管理課長補佐・医療課長補佐から改定内容について説明がなされ、その後、質疑応答が行われた。受講者は合計5,240名であった。

2. 小児救急地域医師研修事業に関する打合せ[3月28日(水)]について(目黒常任理事)

当会から、本年度の研修会の実施状況、北海道小児科医会からは、研修会の際に行ったアンケート結果についてそれぞれ報告し、意見交換を行った。なお、受講対象者を医師以外にも広めており、参加者も多職種にわたっているため、次年度から研修会の名称を変更することとした。

3. 第126回日本医師会定例代議員会[4月1日(日)・2日(月)]について(三宅・宮本・畑各副会長)

初日は役員等の選挙が施行された。議長は3名の候補者のうち、加藤寿彦氏(愛知県)が得票総数357票のうち152票を獲得し当選した。副議長には久野梧郎氏(愛媛県)を無投票で選出した。会長は3名の候補者のうち、第1回目の投票で、投票総数357票のうち、横倉義武氏(福岡県)154票、原中勝征氏(茨城県)137票、森洋一氏(京都府)65票であり、「会長選挙の必要投票数」の規定に基づき、有効投票数の2分の1以上の得票を得た候補者がいないことから、有効投票の最多数を得た者2人(横倉義武・原中勝征両氏)をもって候補者とし、再度選挙を行った。再投票の結果、投票総数357票のうち、横倉義武氏(福岡県)が192票を獲得し当選した。副会長は定数3名に対し4名の候補者がおり、中川俊男氏(北海道、当会参与)が再選されたほか、今村聡氏(東京都)、羽生田俊氏(群馬県)が当選した。常任理事は定数10名に対し13名の候補者がおり、石井正三氏(福島県)、石川広己氏(千葉県)、藤川謙二氏(佐賀県)、葉梨之紀氏(神奈川県)、三上裕司氏(大阪府)、今村定臣氏(長崎県)、鈴木邦彦氏(茨城県)、小森貴氏(石川県)、道永麻里氏(東京都)、高杉敬

第1回常任理事会

日時 平成24年4月10日(火) 18:00~19:45
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒各常任理事、水元・大口各監事
 (事務局: 島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法医師指定審査委員会委員の一部変更に関する件(深澤常任理事)

北海道の人事異動により、「行政官庁」区分の山口亮氏にかわり栗井是臣氏を後任委員として委嘱することと決定。

第2号 北海道医師会産業保健活動推進委員会委員の追加に関する件(深澤常任理事)

本年3月31日付で当会常任理事を退任した小山司氏(前産業保健部部長)には当会産業保健活動の推進に引き続き協力願うために、標記委員会の規程第3条の2に基づき特別委員として委嘱することを決定。

第3号 北海道医師会健康スポーツ医学推進委員会委員に関する件(深澤常任理事)

本年4月1日施行として改正した当会役員会務分担により、標記委員会が産業保健部から地域保健部に移管されたことから、当会役員の委員構成を三副会長、地域保健部役員、健康スポーツ医である役員とすることを決定。

第4号 北海道地域連携クリティカルパス運営協議会委員に関する件(深澤常任理事)

橋本常任理事を推薦することと決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座29件、道医認定生涯教育講座29件、合計58件を承認することと決定。

第6号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件(深澤常任理事)

引き続き2.00%とすることと決定。

第7号 第1回理事会の議案に関する件

久氏（広島県）が当選した。その他、理事13名、監事3名、裁定委員11名はいずれも定数の候補者により無投票で確定した。当会関係では、理事に長瀬清会長、裁定委員に島田保久氏（札幌市）が再選された。

2日目は、横倉会長と日本医学会の高久史麿会長の挨拶の後、会務報告が行われ、その後、会費減免、事業計画・各予算案等が上程され、議長が財務委員会の設置を告げ、北海道からは三宅直樹代議員が選出された。その後、代表質問8件、個人質問11件が行われた。なお当会では、代表質問として畑俊一代議員より『いわゆる「総合診療医」問題について』の質問を行った。また、代議員会終了後にこれらのことは第70回定例総会に報告され、すべて承認した。

4. 緊急臨時的医師派遣事業第1回運営委員会[4月4日(水)]について（直江常任理事）

延長申請57件と新たに派遣申請のあった9医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。また、新たな派遣元として32医療機関が登録された。

5. 外部各委員会報告

(1) 緊急被ばく医療ネットワーク協議会[3月21日(水)]について（目黒常任理事）

福島県立医科大学救急医療学講座長谷川助教より、福島医科大学病院被ばく医療班の取り組みと今後の課題について、原子力安全協会・谷田部氏より、国による原子力防災対策見直しの動向についてそれぞれ講演があり、意見交換を行った。なお、小職より、初期被ばく医療機関の防災対策重点地域外設置、安定ヨウ素剤の投与方法などの具体的な検討を要望した。

(2) 北海道医療対策協議会[3月28日(水)]について（宮本副会長）

会長の高橋知事の挨拶の後、3分科会からこれまでの検討・協議等について報告がなされた。意見交換では、医師確保のため鉄道・高規格道路など交通網の充実について関係機関に対しての要請や、看護師不足の対策について意見が寄せられた。

(3) 第6回新たな北海道病院事業改革プランの策定に関する検討委員会[3月28日(水)]について（直江常任理事）

道立病院の役割・あり方について、高度・専門医療を担う2病院、広域医療を担う2病院および結核医療を担う1病院の医療機能等、今後の対応について協議を行い、今後のスケジュールを確認した。

(4) 第2回介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会[3月28日(水)]について（前川常任理事）

平成23年度における道の地域包括ケア市町村支援ならびに関係事業についての報告がなされ、平成24年度に向けた「安心して暮らせる地域づくりガイドブック」の実践編の作成と住民参加型の地域づくりに対する支援について協議

された。住民参加型の地域包括ケアは地域差が大きい。

(5) 第2回北海道高齢者虐待防止推進委員会[3月28日(水)]について（前川常任理事）

当該委員会は、高齢者の増加・認知症患者の増加に伴う営利目的の介護付き高齢者住宅の増加を背景に、重要な会議として位置づけられている。議事内容は、平成23年度事業実施報告と平成24年度実施計画(案)についての協議であった。

(6) 北海道エキノコックス症対策協議会[3月29日(木)]について（渡邊常任理事）

平成23年(1月～12月)は19名の届出を確認した。キツネの行動範囲を考慮した場合、駆虫薬散布にあたっては複数の市町村で広範囲にわたって同時期に実施しなければ効果がないことが指摘された。

(7) 北海道感染症危機管理対策協議会[3月29日(木)]について（三戸常任理事）

日本脳炎の予防接種については、平成24年度においても引き続き実施しない方針となった。また、新型インフルエンザ行動計画については、国のガイドラインが示された時点で北海道としての行動計画を改訂していく方針であることが確認された。

6. その他

(1) 役員緊急連絡網について（深澤常任理事）

新年度に係る変更等を確認した。

道総医協関連事項（三宅副会長）

1. 第3回地域医療専門委員会[3月29日(木)]について（宮本副会長）

国の平成21年度および22年度補正予算で措置された、地域医療再生計画の進捗状況の報告が行われた。また、地域医療再生臨時特例交付金の執行残や運用利息の活用方法と、厚生労働省の承認が必要となる各事業計画の変更による2億円以上の新たな事業に取り組む場合等については、本委員会で協議することを決定した。

第1回理事会

日時	平成24年4月21日（土）16：00～16：40
場所	北海道医師会館9階・理事会室
出席者	長瀬会長、三宅・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・岡部・伊藤各常任理事、山光・島田・伊藤・沖・倉増・山下・古屋・堀・杉元各理事、水元・中村・大口各監事、中川参与、塩野議長、本間副議長、島田日医裁定委員。

（事務局：島影事務局長ほか12名）

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 第126回日本医師会定例代議員会について

(三宅・畑各副会長)

初日は役員等の選挙が施行された。議長は3名の候補者のうち、加藤寿彦氏(愛知県)が得票総数357票のうち152票を獲得し当選した。副議長には久野梧郎氏(愛媛県)を無投票で選出した。会長は3名の候補者のうち、第1回目の投票で、投票総数357票のうち、横倉義武氏(福岡県)154票、原中勝征氏(茨城県)137票、森洋一氏(京都府)65票であり、「会長選挙の必要投票数」の規定に基づき、有効投票数の2分の1以上の得票を得た候補者がいないことから、有効投票の最多数を得た者2人(横倉義武・原中勝征両氏)をもって候補者とし、再度選挙を行った。再投票の結果、投票総数357票のうち、横倉義武氏(福岡県)が192票を獲得し当選した。副会長は定数3名に対し4名の候補者がおり、中川俊男氏(北海道、当会参与)が再選されたほか、今村聡氏(東京都)、羽生田俊氏(群馬県)が当選した。常任理事は定数10名に対し13名の候補者がおり、石井正三氏(福島県)、石川広己氏(千葉県)、藤川謙二氏(佐賀県)、葉梨之紀氏(神奈川県)、三上裕司氏(大阪府)、今村定臣氏(長崎県)、鈴木邦彦氏(茨城県)、小森貴氏(石川県)、道永麻里氏(東京都)、高杉敬久氏(広島県)が当選した。その他、理事13名、監事3名、裁定委員11名はいずれも定数の候補者により無投票で確定した。当会関係では、理事に長瀬清会長、裁定委員に島田保久氏(札幌市)が再選された。

2日目は、横倉会長と日本医学会の高久史磨会長の挨拶の後、会務報告が行われ、その後、会費減免、事業計画・各予算案等が上程され、議長が財務委員会の設置を告げ、北海道からは三宅直樹代議員が選出された。その後、代表質問8件、個人質問11件が行われた。なお当会では、代表質問として畑俊一代議員より『いわゆる「総合診療医」問題について』の質問を行った。また、代議員会終了後にこれらのことは第70回定例総会に報告され、すべて承認した。

(2) TPP参加反対総決起大会〔4月18日(水)・日医〕について(直江常任理事)

国民医療推進協議会(会長:横倉日医会長)の主催により開催され、医療関係者、国会議員等約800人が参加した。各団体からの決意表明がなされ、その後「国民皆保険制度の恒久的維持を誓い、崩壊へと導くTPP交渉参加に断固反対する」との決議が採択された。

(3) 日医理事会報告(長瀬会長)

第1回は当選当日の4月1日に行われ、役員

の序列や理事会の開催日程、退職役員功労金等について決定した。

第2回は4月17日に行われ、外部委員会の委員の推薦や、会内委員会の新設・廃止等について協議した。

(4) 日医各委員会報告

1) 医事法関係検討委員会について(山光理事)

医師と患者の関係や患者をめぐる法的諸問題について検討し、医療に関する基本法の制定に向けて協議を重ねてきた。去る3月末に、医療政策の基本理念を国に提言するための医療基本法の草案を提示し、日本医師会長に答申した。

(5) その他

1) 北見医師会看護専門学校存続と看護課程の廃止について(古屋理事)

今後、学費等の見直しをした上で、准看護課程は存続し、2017年度に看護課程を全日制3年課程に移行することを決め、学校の安定運営のため北見市に支援を求める要望書を提出したが、道医執行部としても状況を理解いただき、今後とも協力願いたい。

2) 事務局の人事異動について(深澤常任理事)

2月4日開催の第6回理事会で当会役員会務分担と事務局の職制の一部改正につき承認決定を受け、かつ3月末で複数の職員が退職することにより、4月1日付で4人の職員を新規採用するとともに、課長補佐以下の一般職につき人事異動を実施した。

4. 承認事項

(1) 外部各委員会等委員の推薦について

(深澤常任理事)

北海道保健福祉部から依頼のあった「北海道障害者介護給付費等不服審査会(任期3年間)」委員に生駒常任理事を、「北海道地域連携クリティカルパス運営協議会(任期2年間)」委員に橋本常任理事をそれぞれ推薦することを承認決定。

5. 協議事項

第1号 母体保護法医師指定審査委員会委員の一部変更に関する件(深澤常任理事)

北海道の人事異動により、「行政官庁」区分の山口亮氏にかわり粟井是臣氏を後任委員として委嘱することと決定。

第2号 北海道医師会産業保健活動推進委員会委員の追加に関する件(深澤常任理事)

本年3月31日付で当会常任理事を退任した小山司氏(前産業保健部部長)には当会産業保健活動の推進に引き続き協力願うために、標記委員会の規程第3条の2に基づき特別委員として委嘱することを決定。

第3号 北海道医師会健康スポーツ医学推進委員会委員に関する件(深澤常任理事)

本年4月1日施行として改正した当会役員会務分担により、標記委員会が産業保健部から地域保健部に移管されたことから、当会役員の委員構成を三副会長、地域保健部役員、健康スポーツ医である役員とすることを決定。

第4号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件 (深澤常任理事)

引き続き2.00%とすることと決定。

第5号 その他

(1) 平成24年度主行事予定に関する件(事務局)

6. 道総医協関連事項(三宅副会長)

平成24年2月4日開催の第6回理事会以降の会議について報告した。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座44件、道医認定生涯教育講座41件、合計85件を承認することと決定。

第5号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(生駒常任理事)

認定要件を満たした新規5名、更新9名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第6号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件(岡部常任理事)

認定要件を満たした新規1名、更新3名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第7号 その他

(1) 個人情報保護管理体制の一部改正に関する件
(深澤常任理事)

4月1日付の職制の一部改正と人事異動に伴い、標記管理体制を一部改正することと決定。

(2) 5月行事予定表に関する件(事務局)

報告事項

1. 北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション2012札幌[4月22日(日)]について(渡邊常任理事)

本年度はホテルポールスター札幌において開催された。参加病院数は60病院(医育大学3、臨床研修病院57)、参加学生数は225名であった。

2. その他

(1) 会員数について(深澤常任理事)

平成24年3月31日現在の会員数は8,330名で、内訳はA会員2,535名、B1会員586名、B2会員4,528名、C1会員117名、C2会員161名、C3会員403名となっている。日医会員は、6,003名である。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 北海道総合医療協議会総会・専門委員会開催日程について(三宅副会長)

5月22日(火)に開催される標記会議の当日スケジュールについて説明した。

第2回常任理事会

日時 平成24年4月24日(火) 18:00~18:30
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒各常任理事、水元・中村・大口各監事(事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (深澤常任理事)

4月の審査委員会で指定「可」とされた再審1名の申請者を指定医師とすることに決定。

第2号 メンタルヘルス対策支援事業 地域メンタルヘルス対策推進特別アドバイザーの推薦に関する件(深澤常任理事)

生駒常任理事を推薦することと決定。

第3号 北海道公衆衛生協会専門部会委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

岡部常任理事を推薦することと決定。

北海道医報ファイルについて

北海道医報本誌を1年分綴ることができるファイルを用意しております。

ご希望の方には無償にてお送りいたしますので、下記まで送付先ならびに希望数をご連絡ください。

記

申込先：北海道医師会事業第一課

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目

TEL 011-231-7661 FAX 011-252-3233

E-mail ihou@m.dou.jp

